

たかはぎ 議会だより



平成26年 第4回定例会

会期 12月5日～12月18日

議案に対する質疑	3
委員会審査報告	4
討論	7
市政に対する一般質問	8
その他の議会活動	14

2015年2月5日 No.133

平成26年第4回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第16号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度高萩市一般会計補正予算（第4号））	歳入歳出それぞれに2,194万5千円を追加したことを報告するもの。内容は衆議院議員総選挙経費。	原案承認
報告第17号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の専決事項について報告するもの	—
報告第18号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	損害賠償及び和解のうち、50万円以下の専決事項について報告するもの	—
報告第19号	専決処分の報告について（高萩中学校校舎耐震補強・津波避難施設整備工事請負契約の変更について）	議会の議決すべき契約のうち、500万円以内の変更の専決事項について報告するもの	—
報告第20号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	市営住宅管理上必要な訴えの提起の専決事項について報告するもの	—
報告第21号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	市営住宅管理上必要な訴えの提起の専決事項について報告するもの	—
議案第74号	人権擁護委員の候補者の推薦について	小松知英氏（上手綱）が任期満了となることから、再任について意見を求めるもの	原案同意
議案第75号	人権擁護委員の候補者の推薦について	鈴木廣美氏（上君田）が任期満了となることから、再任について意見を求めるもの	原案同意
議案第76号	公の施設の使用料見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	12施設の使用料について、改定を行うもの。新規設定料金数2、見直し料金数59（引上げ5、引下げ54）。	原案可決
議案第77号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴い、本年度の給与水準の改定と給与制度の総合的見直しを行うもの	原案可決
議案第78号	高萩市行政手続条例の一部改正について	行政手続法の一部改正に伴い、処分及び指導に関する手続きについて改正するもの	原案可決
議案第79号	高萩市手数料条例の一部改正について	地籍調査等の成果の写し交付手数料の改定を行う	原案可決
議案第80号	高萩市国民健康保険条例の一部改正について	出産育児一時金の基本額を40万4千円とするもの	原案可決
議案第81号	指定管理者の指定について	花貫物産センターの指定管理者について指定を行うもの。期間は、平成27年4月1日から3年間。	原案可決
議案第82号	字の区域の変更について	赤浜地区の土地改良事業で新しく整理された区画をもとに字の区域を変更するもの	原案可決
議案第83号	平成26年度高萩市一般会計補正予算（第5号）	歳入歳出それぞれに1億1,921万円を追加するもの。内容は、国保会計への繰入金、人件費の増等。	原案可決
議案第84号	平成26年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれに1億5,971万円を追加するもの。内容は療養給付経費等。	原案可決
議案第85号	平成26年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれに115万5千円を追加するもの。	原案可決

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第86号	平成26年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	保険事業勘定の歳入歳出それぞれに1,810万5千円を追加するもの	原案可決
議案第87号	平成26年度高萩市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入及び支出において、水道事業費用を91万8千円増額するもの	原案可決
議案第88号	平成26年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入及び支出において、工業用水道事業費用を62万1千円増額するもの	原案可決
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ5人が参加するもの	原案可決

議案質疑

報告第19号 専決処分の報告について（高萩中学校校舎耐震補強・津波避難施設整備工事請負契約の変更について）

今川敏宏 議員

質問 この工事の入札参加業者数は7社で、落札価格は1億4200万円。入札最高額との差額は290万円。今回の334万円の追加で、入札最高額より44万円高くなった理由を伺う。

教育部長 追加になった理由は、校舎天井裏に隠れていたアスベストの除去工事が発生したことと、耐震ブレースの大きさが亜鉛メッキをするためには大きすぎたので、分割する必要があるためです。今後は適切な工事の進捗に努力していきたいと思います。



耐震ブレース

議案第83号 平成26年度高萩市一般会計補正予算（第5号）

飯田毅昭 議員

質問 学校給食費、給食センター管理運営費の中、賄材料費の補正増額の理由、また地場産食材も含め食材の使用産地状況について伺う。

教育部長 現在、学校給食については、小学校5校と中学校4校で1日当たり2416食の給食をつくっており、今年度については、当初の予定に比べ、乳製品や肉類の高騰や気候不順による青果物の価格高騰があり、賄材料費の不足が予想されるために補正を行う。また、食材産地の使用状況の割合は、米100%を初め高萩産14%、茨城産34%、国内産40%、外国産12%となる。

また、来年度以降の給食費については、保護者への負担を配慮しながら、児童生徒に安心安全な給食を提供するために、給食費の値上げをせざる得ないと考えている。

平正三 議員

質問 市有地（車検場跡地）整備事業の工事の目的、場所、面積について伺いたい。高萩工業高等学校跡地を不動産鑑定する理由につ

いて伺いたい。

総務部長 市有地（車検場跡地）整備事業の工事的には土地を分割して公募を行うためであり、所在地は有明町3丁目19番地の1、面積は899・94平米である。



有明町の売払い予定地

経営戦略部長 人工芝サッカー場以外の土地は、来年3月末に明秀学園に譲渡する予定であり、譲渡価格は、平成24年12月に茨城県より払い下げを受けた価格4400万円が基本となるが、譲渡時点での時価を把握する必要から不動産鑑定を行うものである。

質問 市有地を何とおりに分割し、売却価格はいくらかになるのか伺いたい。

総務部長 2筆に分筆し、平米当たり単価は1万4800円と1万4400円となる。

総務建設経済委員会

12月15日、当委員会に付託された報告1件、議案9件、陳情1件、請願1件と所管事項の審査を行った。

○公の施設の使用料見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

問 従来の使用料算定方式では、人件費、物件費、建設費掛ける貸出面積割合であったが、今回、建設費を除いた理由は。

答 活発な市民活動を促し、市民の文化、スポーツの振興を図る観点から、今回、建設費を除いて、人件費と物件費を経費とするものです。

○平成26年度高萩市一般会計補正予算（第5号）

問 歳出のうち高萩工業高等学校跡地管理経費519万2000円について。明秀高校に売却することとを前提として、不動産鑑定委託料、サッカークラウンド分筆測量委託料が計上されているが、県から払い下げてまだ丸2年で明秀高校へ売り渡す理由は何なのか。

答 明秀学園では、工業高校跡地に進学向上のための学習施設や柔道、剣道、卓球、テニス等の練習場の確保の考えがある。その要望

を踏まえて、来年3月末を目途に譲渡していきたい。また、サッカー場の条例化をするということで管理区分を明確にしていきたい。

問 課税事務経費のうち土地鑑定評価委託料26万円の事業内容及び目的について。

答 市内に新設稼働した太陽光発電施設用地の課税根拠を明確にするために鑑定評価いただく内容になっている。今回、不動産鑑定士に鑑定評価をいただき、意見を参考に、来年度以降の適正課税を図るものです。

問 土木総務事務経費のうち橋梁台帳整備委託料50万円、河川台帳整備委託料30万円について、事業の具体的な内容は。

答 橋梁台帳整備委託料については、市内の180橋の現地調査、測量を行い、図面、写真等を添付した台帳を作成します。

河川台帳整備委託料については、市が管理する準用河川4河川、普通河川26河川の平面図と約500メートルごとの断面図と写真を添付した台帳をつくります。

26年度、27年度の2か年継続事業で総額1600万円ですが、その全額が震災対応の県の補助金です。



竜子川と石崎橋（下手綱）

○平成26年度高萩市水道事業会計補正予算（第2号）

問 債務負担行為、浄水場（第一・関口浄水場）運転管理業務委託、平成27年度から平成29年度まで3年間、限度額2億2739万2000円について、具体的な事業内容の説明を求める。

答 浄水場に張りつく人員は15名で、365日24時間対応の内容を交代で勤務しています。主な業務内容は、浄水場の運転管理、機械の運転管理、水質の管理、水量の管理です。また、水源域の巡視、採水・取水施設や導水施設や配水施設等の管理もあります。限度額については、24年度から26年度の3年間分と比較すると、労務単価

の増などにより、約20%の増になっています。

○その他の事項

問 消防団の装備の充実強化と消防団員の処遇改善のこれまでの進捗状況と今後の進め方について。

答 消防団の装備については、平成25年度までに反射ベスト、防寒ジャンパー、編み上げ靴を整備した。26年度からは計画的に防火衣、救命胴衣、ヘルメット、手袋の不足分を補う。27年度には、防塵眼鏡、防塵マスク等の計画的な整備を予定しています。

消防団員の処遇改善については、平成27年度から報酬、費用弁償（出場手当）について、徐々に見直しをする計画です。



消防団員（消防出初式）

文教厚生委員会

12月12日、当委員会に付託された議案6件の審査を行った。

○公の施設の使用料見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

問 施設使用料の算定方法の見直し、新しい料金設定となる中で、原価計算から建設費を除いたことは非常に積極的に評価します。新しい料金と旧料金の比較はわかりませんが、今回は結論だけ示されているのだが、算定根拠の資料の提出を要求します。

答 少し時間がかかります。会期中に提出します。

○高萩市国民健康保険条例の一部改正について

問 産科医療補償掛金相当加算額の引き下げられた理由は。

答 補償制度発足から5年が経過し剰余金があり、今回掛金相当分を引き下げました。補償額に変わりはありません。

○平成26年度高萩市一般会計補正予算（第5号）

問 私立保育園経費のうち、保育委託料の増額の内容は。

答 補正は、当初の見込みに対して0歳児が6名の増、1〜2歳児が13名増えた関係で、各私立保育

園に支払う委託料を増額するものです。

問 債務負担行為補正のリサイクルセンター一般廃棄物処理委託について、限度額の増の理由は。また、年度末の3月で契約が切れるため、新年度4月からの債務負担行為を設定したというが、業務管理業者を決定していくのか。

答 限度額の増は、人件費及び消費税のアップによるものです。消費税につきましては、年額で195万円、3年間で585万円の増と算出しました。また、人件費としては、労務費と経費のみです。

業者は、競争入札により決定します。現段階で業者の指名関係の条件設定が未確定で、入札業者が市内に何社とか、県外に何社という話は、所管課としてはできない状況です。



高萩市リサイクルセンター

問 学校給食センター管理運営費の賄材料費を補正した理由は何か。

答 現在の学校給食は、小学校5校、中学校4校で、1日当たり2416食の給食を提供しています。今年度は、当初の予算に比べ消費税の改定とともに、乳製品や肉類の高騰や気候不順による青果物が高騰したことにより、賄材料費の不足が予想されるため、今回補正を行うものです。



高萩市立学校給食センター

○平成26年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

問 一般会計から4000万円の財源補填をしているが、保険給付費の中で一般被保険者の療養給付費、高額療養費が増額となっているが、主な理由は。

答 医療の高度化に伴って、保険点数の高い医療が提供されていること、また、国保被保険者の高齢化によるもので、65歳以上の被保険者の割合が、ここ3年間で6%増加しています。これに伴って保険給付費が前年と比較すると5・2%伸びているため、増額補正を行うものです。国保特別会計は、本来独立採算制で運営しているが、歳入面で不足が生じた場合は、現況では一般会計からの繰り入れをお願いしています。



震災復興等対策特別委員会 調査報告

震災復興等対策特別委員会は、平成23年12月に震災からの復旧・復興を目的に設置して以来、計35回の委員会開催と3回の現地視察調査を行ってきました。

今回はこれまでの経過と成果を報告いたします。

地域防災計画

計画案を徹底的に査定し提言をまとめ、反映させ計画が策定されました。その計画に基づき対策を進めています。曖昧であった避難場所については、一時的に避難する緊急避難場所と、備蓄倉庫等を備え避難生活ができる指定避難所を明確に指定しました。また、災害情報伝達手段として、防災行政無線スピーカーを22か所に設置するとともに、全社の携帯電話でエリアメールが受信できるようにしました。また、使用期限が切れる防災FMを、コミュニティFMに変更し防災FMとしての機能を継続しています。



放射線被害対策

公共施設の除染工事を実施、子どもの甲状腺超音波検査を実施、風評被害など東京電力や国への賠償請求をさせました。

津波対策

津波避難計画を策定し、現在、津波避難階段設置工事、津波避難誘導灯設置工事が進んでいます。

公共施設の復旧と耐震化

復旧はほぼ完了し、学校の耐震化は順次進行中です。

市庁舎再建

これまで26回にわたり審議を重ねています。現在は基本設計の見直しが行われています。以下簡略ですが見直しに至る経緯をお知らせします。

平成25年10月 「高萩市本庁舎再建計画（基本構想・基本計画）」が提示され、延べ床面積6,000～6,500㎡、総事業費30億円というものです。

平成26年2月 本庁舎再建計画のもとに、プロポ

ーザル方式により設計業者が選定され、3月には設計業務委託契約を交わし基本設計が始まりました。

8月27日 基本設計案が示されました。その内容は、延べ床面積6,793㎡に拡大したものでした。建設費については9月議会時に示すことになりました。

9月19日 9月議会中の特別委員会で総事業費44億円と示されました。これは明らかに計画変更であると指摘し、理由の説明と資料を請求しました。

10月17日 床面積と建設費の資料が示されましたが、賛成する議員と反対する議員、発言しない議員で意見がまとめられず、次回に先送りしました。

11月19日 各議員から意見を求めました。反対意見の主な理由は、「これまで承認してきた計画より床面積や建設費を大きくしたのはおかしい。将来の財政負担が心配だ。計画変更の手続きもしない進め方がおかしいなど」です。賛成意見としては、「必要な大きさならいいのでは。執行部が考えたものだからしょうがないだろう。どうせつくるなら大きくしてもいいものをつくった方がいいなど」です。この日も意見をまとめることはできず、次回までに各議員が書面で意見を提出することになりました。

11月27日 各議員から書面で意見が提出され、12月議会中に開催する特別委員会でまとめることになりました。

12月16日 提出された意見をそのまままとめたところ、委員長に対し「こんなまとめ方はない」との意見が出され紛糾しましたが、最終的には「高萩市本庁舎再建計画に立ち戻り、面積を縮小する方向で、基本設計を見直すこと」という提言を、全会一致で決定し市長に提出しました。

12月18日 議会最終日に開催された議会全員協議会において、市長から「議会からの提言を重く受け止め、面積、予算とも縮小する方向で見直す」との説明があり、現在、基本設計見直し作業中です。





議案第77号 高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

賛成討論 大足光司 議員

本条例は人事院勧告に伴い職員給与を、今年度の月例給、期末手当等を引き上げる一方、来年4月からは、「給与制度の総合的な見直し」の名のもとに、地方の給与配分を見直すこととして、月例給を平均2%引き下げるものです。

本市は、行財政健全化計画による職員数の削減で、職員の業務量は増大し、さらに、震災復興の業務も増加し、管理職を初め職員の労働条件は悪化の一途にあります。

市職員の給与の引き下げは、公務員労働者の生活だけでなく、年金、最低賃金、消費購買力の低下にもつながり、地域経済の建て直しに非常にマイナスな影響を及ぼすといえます。

今回の月例給等の引き上げには賛同しますが、来年度からの月例給の引き下げは、決して職場環境によいとは言えません。よって、この議案に今回は賛同

しますが、今後の給与の見直しを行う場合は、職場で働く者の意見を重視していただくよう、市長に強く求め、討論を終わります。

議案第83号 平成26年度高萩市一般会計補正予算(第5号)

反対討論 岩倉幹良 議員

この補正予算において、高萩工業高校跡地管理経費として不動産鑑定委託料74万2000円、サッカーグラウンド分筆測量経費445万円が計上されているが、これはこの跡地を27年3月末に明秀学園に譲渡するため行うものであるという。しかし、譲渡するにあたっては、平成25年3月25日に交わした覚書に「譲渡価格については、高萩市が茨城県から取得した価格を基本とするものとし、それまでに支払われた賃貸料を勘案して価格を決定する」とあることから、買入れ価格4400万円、賃貸料約400万円であることから、譲渡価格は4000万円となる。覚書にそって譲渡価格を決めるというのであれば、鑑定などかける必要はない。また分筆測量については、サッカー場だけをグラウンドの真ん中にポツンと残し、あとの全部を明秀学園に売却するという。

公道からの通路、トイレや水飲み場を設けずに、同学園の施設を利用させてもらうという。これが行政のやることですか。

賛成討論 作山里美 議員

私は議案第83号、一般会計補正予算について賛成の立場から討論を行います。

12月16日の常任委員会で私は本案件に反対をしました。それは、高萩工業高校跡地管理経費519万2000円が承認できなかったからです。小田木市長は現在、日立明秀高校に賃貸してある当該土地を来年3月末日までに同校に売却する旨を発表し、今回計上された補正予算は売却のための準備金です。なぜこんなに早くトンネル行為をなお強く印象づける行為に走らなければならぬのか理解できませんでした。しかし、昨日全協での市長の説明でそれもやむなしと理解しました。しかし、一つだけ強く要望しておきたい。跡地内にある人工芝サッカー場は市民の福利厚生施設の施設であり、公の施設として残すことが明確にされている以上、その進入路・トイレ・洗面所等付帯施設のスペースは市有地として残していただきたい。それができなければ市民の理解は得られない。

◎請願・陳情

市政などについて要望があるときは、どなたでも市議会に請願・陳情を行うことができます。請願・陳情は文書で行うことになっていますので、書式、提出方法等について議会のホームページをご覧ください。

提出していただいた請願・陳情については、議会で審議し、採択、不採択を決定します。(ただし、郵送で提出された陳情は、議員への配付のみとなります。)

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
総合運動広場設置に関する陳情書	採 択
米価暴落に対し実効性ある緊急対策を求める意見書の提出に関する請願	継続審査



岩倉幹良 議員

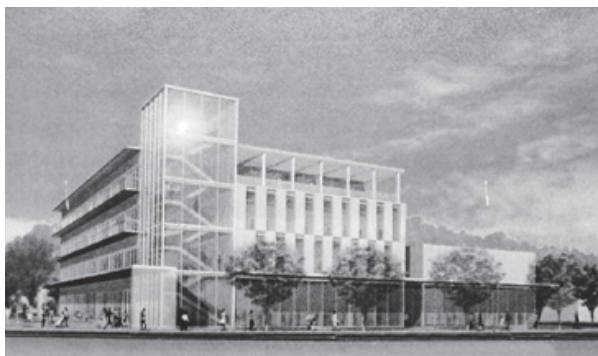
新庁舎建設について

質問 岩手県知事、総務大臣を務めた増田寛也氏の編著による中央公論新社発行の「地方消滅」によれば、高萩市の人口は、2040年には1万8180人にまで減少するであろうと予測しております。こうした状況にある中で、新庁舎建設を考える場合に、こうした予測というものを加味しなければならぬ。人口が減少するということは、市の業務も少なくなる、当然職員の数も少なくなることを考えたなら、それこそコンパクトな無駄のない庁舎、持続性のある庁舎、の建設をすべきである。読売新聞は10月21日の紙上で、県内44市町村の経常収支比率と公債費について、高萩市はそれぞれ98・7%、17・2%でどちらも県内ワースト1であると報じた。新庁舎建設については、基本設計をプロポーザル方式による提案を求めた結果、最優秀として選定された案では庁舎の面積は5766㎡としていたが、その後見直しがされて6800㎡になるとのことである。市民は豪華な庁舎は望んではいない。身の丈に合った庁舎を建設すべき

であると思うが。

市長 人口推計について人口問題研究所によれば2040年には約2万人とのことであります。今回の庁舎建設にあたっては、人口が減少するということも含まれていると理解している。また、身の丈に合った庁舎建設ということですが、基本設計の見直しについては、さまざまな検討を行った結果に基づき必要な機能であると認識している。

【最優秀案のイメージパース】



プロポーザルに提出されたイメージ図

その他の質問事項

○災害廃棄物仮置場整備工事について

○コミュニティFM放送について

○高萩工業高校跡地（サッカー場も含む）について



小宅 誠 議員

市民が安心して暮らせる医療について

質問 市民の間で県北医療センターの医師不足が話題になっていきます。11年前に「高萩協同病院移転改築に関する協定」が結ばれている。「県北地域における医療供給体制を確保し、総合的な医療機能を有する病院として、また、病院の規模及び診療科目は、高萩市の要望を踏まえて運営する。」

協定書を確認しましたが、現在まで市の財政支出も多額であり、市民が熱望する病院としての役割を果たしているのだろうか。

市長 病院運営費の補助8000万円は、市民の医療の担保がとれると理解して、補助金の交付は妥当であったものと考えている。常勤医師の確保は、県あるいは厚生連に対しても、二次医療圏全体の中で協同病院の内科医師確保を強く要請していく話し合いの場を設置する予定。

震災からの市道の復興について

質問 市民の生活道路である東地区の中通り1409号は、通学路

として児童の安全確保が必要です。舗装打ち替え工事の計画はあるのか。また、浜野町踏切冠水対策の進捗状況の説明を求めます。

建設経済部長 市道1409号線は道路ストック総点検調査委託事業の対象路線であり、年度内に策定した計画を基に、緊急性を確認して整備を進めていきます。

市長 踏切の大雨による冠水は、市民の通行に支障をきたしていることから、早期に対策を施行するため、借地による事業として進行する。



冠水した浜野町踏切

その他の質問事項
○認知症施策の充実を問う



寺岡七郎 議員

人工芝サッカー場について

質問 ①サッカー場は、進入路、トイレ、水飲み場は行政の責任で管理すべきである。それができないのは土地利用が制限されるからできないとありますが、目的をもって設計することは土地利用を制限するために行う仕事であります。②明秀との覚書では、土地を処分する場合は茨城県から取得した価格を基準とし、また、それまで支払われた賃料を勘案するとなっております。しかし、覚書は私は法的拘束力がないと判断しております。市長はどのように理解しているか。③普通財産の無償貸し付けは今の条例に抵触するのではないか。

経営戦略部長 ③人工芝サッカー場の条例を来年4月までに制定し、使用料は其中で示していきたい。質問 進入路等は市民がサッカー場を利用するために支障がないように優先して確保すべきである。市民のサッカー場としての利用を優先して考えるのか、それとも明秀の利用を優先するのか。経営戦略部長 侵入路等の利用の確保は明秀との売買契約書等で定め確保していきたい。



人工芝サッカー場

経営戦略部長 ①明秀学園では土地所得後の具体的利用計画がまだ定まっています。このため、現時点で人工芝サッカー場の条例制定に合わせ進入路、トイレ、水飲み場の敷地を定めることは将来の土地利用に支障をきたす可能性があるということ、現時点では大変難しいと考えました。市長 ②覚書は、当事者間では有効なものと考えています。



今川敏宏 議員

来年度予算編成について

質問 来年度予算の考え方と方向性と、予算の2割を占める人件費は、職員数を削減してきた反面、臨時職員が増えています。今後の考え方を伺います。市長 定住人口の確保、少子化対策を積極的に取り組み、既存事業の徹底的見直しと再構築で、効率的、効果的に持続可能な市政運営に努めていきます。臨時職員については、退職職員の再任用制度活用し、事務を補完する臨時職員の削減を図っていきと考えています。

コミュニティづくりについて

質問 常会加入率減少の理由として、市報の新聞折込みのことが言われますが、回覧板による配布は、手元に届くまでに時間差が生じることや、常会未加入者には配布されないという不公平・差別になり、見直しが必要だったのであります。全ての市民が加入しているゴミ集積所のグループを活かせないか、核になる人材の発掘育成のための予算化、若い世代の参加を促すための、新婚家庭家賃助成制度の条件に地域行事参加を付加できないか、見解を伺います。

総務部長 まもなく地域コミュニティ活性化委員会を立ち上げ、来年度はモデル地区事業として選定した地区を支援しながら、協働のまちづくりの指針を作成する予定です。その中で、提案について協議検討したいと考えています。



高萩海岸「初日の出」

その他の質問事項
○行財政健全化と地域活性化について
○グリーンタウンをつな粗造成地活用計画について
○本庁舎建設について



鈴木英樹 議員

生涯現役社会の 創出について

質問 高萩市の高齢者に対する健康増進、生きがいづくり、社会参加についての取り組みについて、まず伺います。

健康福祉部長 健康増進事業としては、元氣アップ運動教室、各種健診事業、生きがいづくりとしては、高齢者クラブでの地域活動の推進や、高齢者大学、公民館活動など生涯学習活動が挙げられます。

質問 行政として、ひとり暮らしの高齢者の皆さん方に対して、せめて、食事づくりに関しての指導、アドバイスをする必要があると私は考えておりますが、市としての取組み対応について伺います。

健康福祉部長 料理や、栄養に関心を持ってもらう動機づけとして、料理教室等への参加を呼びかけるなど、こもりがちになり暮らしの高齢者へのケアも兼ねた活動をしたと考えております。

質問 市長は、平成27年度の重点分野として、安心なまちづくり、安全なまちづくり、活力のあるまちづくりを掲げていますが、生涯現役社会の創出についても重要課



グラウンドゴルフ

題として取り組んでいただきたい。市長 3か年で、県のモデル事業として在宅医療介護連携拠点事業に取り組んでおり、介護が必要な状態の高齢者でも、住み慣れた環境でできるだけ長く過ごせるよう在宅医療、介護の切れ目のない仕組みを構築し、生涯現役にもつなげていきたいと考えております。



作山里美 議員

本庁舎改築について

質問 去る8月27日及び9月19日に示された庁舎改築の概要について、小田木市長はこれを見直さなければならぬ。まず議会の多数の理解が得られていない。それは執行部から示された先行き5年間の財政指標からみても当然である。国からの交付金16億円があるといってもぜいたくは許されぬ。身の丈に合わせ当市の実質負担金を10億円程度以下に設定すべきでは。

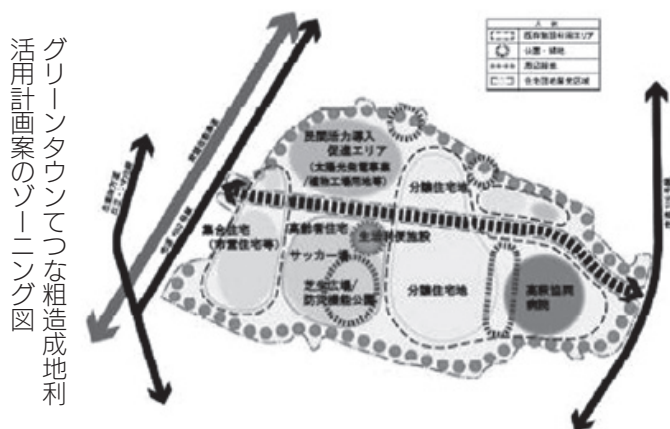
市長 各議員からの異論について、まだ具体的に私の方へ届いていませんので、それが届き次第なお精査します。将来の財政指標等につきましては、十分に留意し、適正な財政運営を進めたいと思います。

グリーンタウンでつな住宅団地の土地利用について

質問 グリーンタウンでつな粗造成地活用計画に当該地内3haを民間活力導入エリアとして太陽光発電システムが検討されているようだが私は反対です。まず景観が悪く雇用を生まない。そして、幾多のトラブルがあることも資料と

して持っている。

経営戦略部長 ご指摘のあったトラブル等については今後精査します。メイン道路より北側約3haを民間活力導入エリアにした理由は、南側に示されている公園施設の管理財源確保を考えた経緯があります。今後よく検討します。



グリーンタウンでつな粗造成地活用計画案のゾーニング図



平 正三議員

コミュニティFMと

戸別受信機について

質問 県内に6局あるFMの設立は、FMラジオつくば、水戸FMぱるるん、FMひたちは民間が設立、FMかしま、FMだいが、たかはぎFMは行政が主導して災害FMとして設立されたが、市長はたかはぎFMについてどのように認識しているのか。行政防災無線戸別受信機設置費用が1台当たり7万8300円、戸別受信機と同じ機能を持ち、充電方式で持ち運びが自由な緊急告知FMラジオの1台当たり設置費用が8600円、低コストで設置できる緊急告知FMラジオの設置の考えを伺いたい。

市長 たかはぎFMは災害FMと認識しています。災害発生後の身近できめ細やかな情報伝達手段として有効なものとして認識しています。緊急告知FMラジオは今後検討します。

質問 たかはぎFMは、消防施設と同様に災害に対応した施設であることを市民に理解してもらうことが大事であり、内容の充実を図るべきと考える。

高萩協同病院問題について

質問 高萩協同病院では、常勤の内科医師がいなくなり、内科の外来患者を他の病院、医院への転院など、市民に大きな影響を与えている。内科医師の確保について伺いたい。

市長 厚生連は県への医師確保の依頼や筑波大、東北大に医師招聘のため訪問すると伺っています。高萩市として、県や厚生連、関係機関と連携を取りながら医師確保に努めていきたい。



県北医療センター高萩協同病院

その他の質問事項
○東海第二原発問題について



田所和雄議員

公共施設等管理計画の策定、人口減少に対応したまち創りについて

質問 8月に施行された改正都市再生特別措置法の概要と、本市の施策への取り組み方について伺う。

3月に策定した「高萩市公共施設等管理計画基本方針案」では、2035年には本市の人口が2万2000人程度まで減少し、高齢者人口割合が40%になるのを前提に、公共施設の大規模な削減が必要としているが、大方針と内容を伺う。

新庁舎については、若い世代に過大な負担を掛けぬよう、床面積を基本計画の6000㎡に返し、総事業費を小さくして、市民の実質的負担額を21億3300万円から基本設計時の9億8500万円に戻すべきと考える。所感を伺う。

経営戦略部長 改正都市再生特別措置法は、医療福祉施設・商業施設・住居等がまとまって立地し、高齢者を初めとする住人が公共交通によりこれらの生活利便施設にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見

直し、コンパクトなまちづくりを目指すものです。制度の内容とその効果について調査します。

総務部長 大方針は、公共施設を検証し、適切に管理・維持ができる保有量まで削減することです。具体的には、現在の保有面積15万4000㎡を38%、約5万8000㎡削減し、コストを70%削減します。

新庁舎の基本設計における規模及び工事費については、平米単価を見直し中であり、再度検証の上、特別委員会で説明します。



仮設庁舎と総合福祉センター

その他の質問事項
○行財政健全化について



大森要二議員

津波避難階段の整備について

質問 東小、高中の避難階段は、亜鉛メッキ（高価）の処理上に滑りやすい樹脂塗装をなぜしたのか。大変危険に思うが予算の内容を聞く。

教育部長 設計者からは亜鉛メッキ塗装でもポリウレタン塗装でも滑り方には大差がないと伺っています。



高萩中学校の津波避難階段

観光地の施設整備、けやき平キャンプ場の整備について

質問 6月定例会と同様、花貫溪谷の公衆トイレ等の件について再度質問しますが、依然として全く改善されていないといっても過言ではありませんね。部長、市長の言われた対応は微塵もありません。



けやき平キャンプ場

次にけやき平キャンプ場については、平成24年からキャンプ場まで車を上げていると管理人さんから聞き、安心してはいますが、行政の対応は他人まかせの悪いイメージばかりです。海・山・自然の宝庫がまだまだあり、利活用に努めていただきたい。

市長 6月のご答弁の中でも計画的に行えるものから優先して整備をしていくという意味で、ご答弁をさせていただいたと私は認識しています。私自身は確認をしていますが、協会の理事に現地を確認していただきました。

質問 市民に地域内外から観光客を誘致する活動に腰を入れて展開していかなければなりません。恵まれた環境を生かしながら生産と観光振興を図り、取り組みが必要であり改善策を検討願いたい。



菊地正芳議員

福祉行政について

質問 まず、ヘルプカード・ヘルプマークの導入、普及について、ヘルプカードとは特に、聴覚障がい者や内部障がい者、知的障がい者、言語障がいなど、一見、障がい者とはわからない方などが、病

気等や緊急時、災害発生時、避難をしている時等、日常生活の中で困った際に提示して、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするためのものである。地域の方が障がい者の理解を深め、障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、積極的に進めていくべきと思うが見解を伺う。



健康福祉部長 県内各自治体の動向を調査研究してまいります。

質問 次に、障がい者サポート養成講座の実施について障がいがある人もない人も、住み慣れた地で安心して暮らせる街づくりをする

ためにも、市民が総ぐるみで障がいを知り、必要な配慮が実践できる関係づくりが不可欠である。実施について見解を伺う。

健康福祉部長 各種障がい者団体の意見を聴取しながら前向きに検討します。

ニセ電話詐欺防止対策について

質問 とにかく、詐欺の手口も巧妙化してきている。根本的な解決法は、ニセ電話を受けない、話さないこと。留守番電話は効果的な対策といわれているが、留守番機能のある電話機を設置している家庭ばかりではない。そこで「注意喚起用のポップアップステッカー」または「3Dシール」の配布について見解を伺う。

経営戦略部長 効果について調査研究してまいります。



ポップアップステッカー



大足光司 議員

道路の整備について

質問 都市計画道路13路線の見直しについて、高萩停車場線3・5・2号線の進捗状況等はどうなのか。

建設経済部長 都市計画道路のうち、未完了の11路線が見直しの対象です。進捗状況は、路線別の道路機能等の検証が完了し、(仮)再編道路網案を策定し、都市計画道路再検討委員会で協議しています。

今後はパブリックコメントで市民への周知及び意見の募集を行い、同委員会で集約し、都市計画道路変更に向けた最終案を確定する予定です。

高萩停車場線3・5・2号は市長より事業協力をお願いしたところですが、今後、地権者の理解が得られるよう努力します。

中心市街地の活性化について

質問 駅前大型店跡地の活用をどのように考えているか。駅周辺地域の地権者と話し合い等は行われているか。

市長 中心市街地エリアの人口減少が大きくなってきている。その

原因は日本全体の問題である少子高齢化、高萩市の特有の問題では日本加工製紙の倒産が大きく影響していると感じている。市街地の整備は既に都市機能が集積しているので、必要な機能の効果的・効率的な維持更新に努め、誰もが住みやすいと感じられるよう、公共交通の確保や、バリアフリー等、インフラ整備を行っていきたいと考えています。イトーヨーカドー跡地や空き店舗などの活用方法については、所有者と情報交換をさせていただき、店舗などの誘致に繋げるよう努めていきます。



舗装工事中の市道

議会災害対策支援本部設置訓練を行いました

11月30日に行われた市の総合防災訓練において、前回に引き続き災害対策支援本部の設置訓練等を行いました。市議会は、東日本大震災の経験を踏まえ、平成25年4月に議員も災害対策に参加し、支援するための組織を定めましたので、その実施訓練を行いました。

当日は、市災害対策本部設置後、議会の支援本部を設置し、各地域の自主防災組織が行う防災訓練会場に分かれて意見収集等を行いました。



総合防災訓練 (高浜町)

議会紹介冊子

高萩市の未来を話し合う『私たちの市議会』(A5判36頁)を発行しました。



この冊子は、市制施行60周年を記念して発行したものです。市議会が身近なものとなるよう、議会について子どもにもわかりやすく解説したものです。小学校5・6年の児童と中学校の生徒に配付しました。議会のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

◎主な内容

- ・市議会ってどんなところ
- ・どんなことをしているの
- ・市議会議員ってどんな人
- ・市民・市長・市議会の関係はなど

議会報告会を

開催しました

11月8日(土)・9日(日)の二日間にわたり、議員が3班に分かれて、市内6会場で議会報告会を開催しました。

市議会とは、市民に身近な代表機関として、公平性と透明性を確保し、市民に開かれた信頼される議会を目指して、平成26年3月の定例会において議会基本条例を制定しました。この条例に議会報告会を行うことを定めています。

議会報告会は、議会自らが地域に outgoing、直接、市民の皆様に関活動の状況を報告し、市政に関する情報を提供するとともに、皆様の関心や意見をお聞きするため開催するものです。

今回は、初めに9月の定例会に提出された議案等の概要と議決結果について報告し、その後意見交換を行いました。意見交換では、出席者の皆様からたくさん意見をいただきましたが、それらを整理し、議会に関するものと行政に関するものに振り分けをして、行政に関するものは市執行部へ伝え、議会に関するものは今後調査検討をしていきます。

なお、当日の様子はたかはぎFMが収録し、翌週に放送しました。

第1班

矢代洋三 菊地正芳 大森要二
飯田毅昭 我妻康伸

8日 高浜スポーツ広場(研修室)
9日 上君田生活改善センター

◎みなさまのご意見

- ・津波避難階段が当初設計と違うのでは。また、屋上フェンスの下部が開いていて危険ではないか。
- ・認知症に対する行政の対応は。
- ・新庁舎の規模、予算は。
- ・市の活性化に、君田地区の自然も有効利用してほしい。

第2班

寺岡七郎 鈴木英樹 今川敏宏
岩倉幹良 小宅誠



8日 総合福祉センター(研修室)
9日 松岡地区公民館

◎みなさまのご意見

- ・県内市町村ワースト1の財政指標もあり、市にはお金がないと判断してよいのか。
- ・FM放送への補助は、市民が納得できるような議論をしたうえで決定してもらいたい。
- ・公共施設、集会施設のトイレを洋式化してほしい。

第3班

篠原新一郎 平正三 作山里美
田所和雄 大足光司

8日 島名多目的研修会館
9日 大能生活改善センター

◎みなさまのご意見

- ・市庁舎建設について見直すことと、情報を公開してほしい。
- ・地域コミュニティの再生をどう考えているのか。
- ・山間部の地籍調査を早く進めてほしい。
- ・イノシシの被害に対し、早急に対策してほしい。



委員会視察報告

◆議会運営委員会◆

議会運営及び議会改革の取組みについて

11月4日～11月6日

○鹿児島県霧島市

○佐賀県鳥栖市

霧島市は、平成21年10月に議会基本条例を制定し、種々の議会改革を行っています。当市でも議会基本条例を平成26年3月に制定しており、先行する議会改革の運用について調査しました。また、議場内設備の更新に伴い、タブレット端末を利用し、大型モニターで表示する採決方式とするなど、情報機器を活用して先進的な運営をおこなっています。

鳥栖市では、平成18年から総括方式と一問一答方式の選択制による一般質問を導入しており、約9割が一問一答方式で行われています。

また、平成23年12月に議会基本条例を制定し、本会議のインターネット中継のほか、ケーブルテレビでの中継や、予算審査に当たり、主要施策について事業別の資料の提出を執行部に求めるなど様々な

改革を行っています。



◆議会だより編集特別委員会◆

議会だよりの編集について

11月12日～11月14日

○兵庫県明石市

○和歌山県紀の川市

明石市の議会だより充実の契機となったのは、議会で市民アンケートを実施した結果から、市議会の情報源的確・迅速に提供し、多くの方に市議会を理解いただくためでした。

まず、見てもらうために、発行日周知のための回覧の作成をしています。そして、読んでもらうた

め、見出しやレイアウトの検討などを行っています。最後に、内容を理解してもらうために、記事の選択やわかりやすい文章にしています。

編集は議会事務局職員が集中的に行い、議会閉会后20日後には発行するということでした。

紀の川市は、近畿市町村広報紙コンクールで優良賞等を何度も受賞しています。当市と同様、委員会が主体となって編集に当たっています。当日は、議会広報特別委員の皆様が出席され、両市の議会だよりを見ながら、紙面づくりの意見交換ができました。見出しや写真など大事な点についてご意見をいただきました。



議会日誌

11月

4～7日 議会運営委員会視察

8・9日 議会報告会

10日 萩っ子(子ども)議会

11日 総務建設経済委員会

12～14日 議会だより編集特別委員会視察

18日

八千代町議会議員視察来市

19日 震災復興等対策特別委員会

21日 議会全員協議会

23日 高萩市市制施行60周年記念式典

26日 議会運営委員会

27日 議会全員協議会

震災復興等対策特別委員会

30日 高萩市総合防災訓練

12月

2日 第2回日立・高萩広域下水道組合議会定例会

5～18日 第4回定例会

18日 議会だより編集特別委員会

26日 議会全員協議会

総務建設経済委員会

1月

13・14日 県北市議会議長会研修視察(千葉県柏市)

15日 議会だより編集特別委員会

21日 常磐三市議会議長会

22日 茨城県市議会議長会理事会・定例会

23日 議会全員協議会

30日 議会だより編集特別委員会

議会全員協議会

市民の声

本町 関山 宏志さん

高萩市生まれ、高萩市育ちの私にとって、少し寂しいことがあります。それは昨年度、ついに市の人口が3万人を割ってしまったことです。配布される市報の「人口と世帯数」欄の数字が毎月減少しています。

そこで市の人口データについて調べたところ、市の平成25年度出生数は、わずか187人です。また、65歳以上の割合が30%に対し、15歳未満は、わずか11.5%です。このような数字を見てしまうと、将来の高萩市が不安になります。このまま極端に人口減少が進むと市民の生活水準や生産機能の維持も少し困難になってしまうかもしれません。

議会等で市の活性化対策の議論と実行は勿論、私たち市民一人一人も住みやすい自然と、歴史ある文化の高萩の魅力を発信し、活力のある高萩市にしなければ、と思うこの頃です。

・・・I LOVE TAKAHAGI・・・

春日町 伊藤紀恵子さん

高萩は海あり山あり豊富な自然の恵みに囲まれた美しい市です。春の新緑、夏の白き砂浜、秋の花貫の紅葉、海の見えるダム、どれをとっても高萩市は県内外の人々に誇れるものです。この様に美しい私達の市の駅前の寂れようは、言葉にいいあらわせません。駅前の活性化は駅前の住民だけの問題ではありません。市全体の問題です。駅前は人間で言えば顔です。市の顔がこんなことでは駄目だと思います。役所、議会、市民が三位一体となって駅前活性化のための多くの意見を求め一歩でも二歩でも前進できることを願っております。

さて、震災後の市の職員と議会が一丸となった復興に向けての取り組みはすばらしかったと思います。優先順位を決め何から行うかを速決しながら事業を行うのは大変厳しかったことと思います。これからも大変だと思いますが、一日も早い市内全域の復興を心から願っております。

傍聴においでください

第1回定例会(3月)予定

3月6日(金)	本会議	議案上程
9日(月)	本会議	一般質問
10日(火)	本会議	一般質問
12日(木)	本会議	議案質疑
13日(金)	文教厚生委員会	
16日(月)	総務建設経済委員会	
17日(火)	予算特別委員会	
18日(水)	予算特別委員会	
19日(木)	予算特別委員会	
20日(金)	震災復興等対策特別委員会	
24日(火)	本会議	採決

※日程等が変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	○	○
総務建設経済委員会 文教厚生委員会	○	○
予算特別委員会	○	○
震災復興等対策 特別委員会	○	

インターネットでの閲覧は、市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。使用環境によっては、見られない場合があります。

議会だより
編集特別委員会

委員長	大 足 光 司
副委員長	田 所 和 雄
委員	今 川 敏 宏
	岩 倉 幹 良
	小 田 毅 誠
	飯 田 昭 伸
	我 妻 康 伸

政府の人口減少対策5か年計画の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、本格的に始動しました。本市においても、人口減少対策、雇用創出のための産業振興策、子育て支援策等の施策に取り組むための「総合戦略」づくりが求められています。

議会では、市民の皆様意向を市政に反映させるため、意見を述べ、議論をし、かつ、税金の使途である予算を慎重に審議しています。

今後は、さらに研鑽を重ね、明日の高萩のために前向きな議論を進め、行政と手を携えて、「地方消滅」を脱すための「高萩版創生戦略」を推進していかなばならないと考えております。(田所和雄記)